

大泉図書館 図書館利用者懇談会

1. 日時 令和3年10月30日(土) 10時～11時30分
2. 場所 大泉図書館 2階 視聴覚室
3. 参加者 利用者 21名
図書館 5名(大泉図書図書館、図書館代理2人、学校総括支援員、書記)
4. テーマ 「コロナ禍における図書館のサービスについて一地域とよりつながるために、これからの大泉図書館を考える」
5. 配布資料 ①『練馬区立図書館ビジョン』
②『大泉図書館の事業をご紹介します!』クリップ止め・18枚
③「練馬つながるフェスタ2022 パネル展&ワークショップ参加団体募集!」
チラシ
6. 次第 ①大泉図書館長挨拶
②図書館職員紹介
③事業紹介等
④懇談

大泉図書館利用者懇談会 会議録

1. 大泉図書館長挨拶

それでは定刻となりましたので、はじめさせていただきますと思います。

これから『練馬区立大泉図書館 令和3年度 図書館利用者懇談会』を開会いたします。改めまして、本日はご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日の懇談会ですが、まず前年度の利用者懇談会以降から今年度10月までに実施した事業の一部についてご報告いたします。

後半は、本日ご出席いただきました地域のみなさま、図書館を利用されている団体のみなさま、近隣施設の方々からご意見をいただく時間とさせていただきます。

今年度のテーマは「コロナ禍における図書館のサービスについて一地域とよりつながるために、これからの大泉図書館を考える」といたしました。

11時30分までの短い時間ではございますが、最後までよろしく願い申し上げます。

2. 職員紹介

館長代理2名、学校支援員

3. 事業紹介等

今まで大泉図書館では、地域とのつながりを大切にされた運営を心がけてきましたが、コロナ禍にあって、人と人がつながることが難しい中、図書館としてできるのはどんなことか考えて事業を実施してきました。今回の利用者懇談会では、昨年度の利用者懇談会以降に実施した事業の中から、今年度のテーマに則した、いくつかの事業について報告しました。そのあと、地域とつながるという流れで、「練馬つながるフェスタ 2022」の参加団体募集チラシを紹介しました。

4. 懇談会

図書館 それではここからは皆さまとの意見交換の時間とさせていただきます。

皆さんからご意見をいただく前に、今回の利用者懇談会には出席できないというご連絡をいただいていた「シェークスピアを読む会」さんから、前もって書面にてご意見をいただいていたので、ご発言をお伝えします。

【シェークスピアを読む会より書面にていただいたご意見】

・コロナ禍に貴図書館は国・都・区と連携されよく対応されていたことについて感謝します。コロナ禍は誰も予想がつかなかったわけで、やりすぎるとか後手に回ったとかの批判は意味がない。当グループとて不満ありません。

・今後第6波があるとかないとか予想は誰もできない。図書館は様子を見てまた都・区と相談して使用方針を決めるしかないと思います。従い、

〔図書館〕今の方針や部屋の使い方を変える場合は各グループ代表に一斉メールで知らせる。

〔各グループ〕一斉メールを受けた時に、(または世の体制を見て随時でもよいが)緩和とか、締め付けをもっと厳しくといった意見をメールする。ということではいかがでしょうか。

・部屋の予約は3か月前の月の1日から電話予約可能、予約票は1か月以内受け取り(つまり次回のグループ会合の前に書き込み、受け取り可能)は、密を避ける意味でも負担が少ない 大変良い方法と思う故、今後も継続をお願いします。

図書館 以上、3つのご意見をいただきました。これに関しまして図書館からひとこと申し上げます。

「今の方針や部屋の使い方を変える場合は各グループ代表に一斉メールで知らせてほしい」というご意見をいただいておりますが、今現在お申し込みの時にご住所と電話番号はいただいておりますが、メールアドレスはいただいておりますので、今後そういったことがご希望ということであれば、そちらについては、区立図書館全体に関わることなので、光が丘図書館に伝えさせていただきます。

それから、申し込みをされて予約票は1か月以内の受け取りとおっしゃっていただいておりますが、今までお部屋の申込みの時には、仮申込みから1週間以内に申

込書を提出しなければいけないとなっていました。今年4月に改訂がありまして、仮申込みから利用日までに申込書を提出しなければならないというように、申込書の提出期限が変わっていますので、当日まで大丈夫です。そのあたりがうまく伝えきれないところがございます。この場を借りてお知らせさせていただければと思います。

図書館 今のご意見は、シェークスピアを読む会からのものでした。これ以降は、今会場にお越しにいただいている皆様からのご意見をうかがいたいと思います。ご発言なさりたい方、ありましたら挙手をお願いいたします。

利用者 大泉学園町在住の利用者です。図書購入の件についてちょっと教えていただきたいのですが、大泉図書館にまわってくる図書をみますと、非常に専門性が高いとか特殊な人、一部の人が利用できるような図書で、かつ非常に高額な図書、あるいは値段さえ書いてないような図書、そういうものが見られるように思うんですね。練馬区のほうではどのような基準で図書を購入しているのか、明確にその基準を示してもらいたいと思います。

もうひとつは、例えば月刊誌、いろいろなものがありますが、これは各図書館で任意に選ぶことができるのでしょうか。知名度の低いような雑誌がものすごく見受けられるのですが、利用者の希望を取り入れて、もう少し違った面から選んでいただけることが可能だったらお願いしたいと思います。その2点をお聞きします。

図書館 ご意見ありがとうございます。昨年もお質問いただいた内容に少し被っているところもあるのかなと思ったんですけども、前回お話ししたこととしては、練馬区の選書基準(本を選ぶ基準)がありまして、そちらに従って光が丘図書館が選ぶものと大泉図書館が選ぶものがあったり選書しています。確かに高額なものもあります。大泉図書館は、特に4門といって自然科学に関する本ですね、数学、物理学、宇宙科学、生物学、動物学、医学といった分野の本を保存する館というのが決まっています。4門は高価な本が目立つのかもしれませんが。専門性の高いものも収集するようにしているので、そのように思われるようなものもあると思います。毎週土曜日に、返却カウンター目の前の白いカートのところに新着図書ということで、新しく入った本を置いていますが、あそこに置いてあるものは、新着図書の一部です。毎回100冊以上の本が入っていますが、既に予約が入っていて他に回っているものもございます。予約が入っていないものがそちらに出ているので、あるものがすべてではないというをご承知いただければと思います。新着図書として出たものについては、紺色の「新着図書案内」というファイルに一覧リストが載っています。リストを見ていただければ、今週どんな本が入ったかがわかるようになっています。

それから、月刊誌についてですが、知名度の低い雑誌が多いというようにおっしゃっていただいたかと思います。大泉は、ご意見箱というものを設置してまして、

そちらにいただいたご意見を参考に選書して、雑誌を購入する場合があります。ただ、いつでも入れられるわけではなくて、購入する雑誌を決める時期がありまして、そこで購入しています。入り口正面に雑誌棚が一つあるのですが、そちらに「練馬区立図書館新聞雑誌総合目録」がありますので、大泉図書館でどんな雑誌を所蔵しているのかは、そちらでご確認いただけます。図書購入の基準については図書館のホームページで公開していますので、ご確認いただければと思います。

他にご意見、この場でお話しておきたいということや、「コロナ禍における図書館サービスについて、地域とよりつながるために、これからの大泉図書館を考える」というテーマにしておりますので、こういうことをしているのでぜひ知ってほしいというのでもよろしいかと思えます。私たちも、いろんな団体の皆様がされていることを知るところからつながりが始まると思っておりますので、ぜひお話しください。

利用者 図書館の外側にある庭園はどのように利用されているのですか。何か子供のための利用方法があるような気もしますが、どうでしょうか。

図書館 大泉図書館には1階と2階に庭園がございます。1階の庭園では、庭を使った事業をいくつかやってきました。例えば樹木の樹銘板を作る事業とか、野鳥観察とかもしています。2階の児童室から出たところの庭園では、庭園にテントを張ってそこで子供向けによみきかせをやっていました。今年の4月も去年の4月も緊急事態宣言のため中止となってしまいました。今年はちょうどいい季節にコロナが猛威をふるっていたために、いろいろ中止になってしまった事業もございます。

また、1階の庭園ですが、その他にも光るミミズを探すというイベントをやったことがあります。図書館の庭園は、とても木が多くて肥沃な土地なので、土に栄養がいっぱいあるので、虫とかもたくさんいて鳥も来るんですね。なので、土の中には光るミミズがいるっていうことを私もその時初めて知ったんですけど、先生をお呼びしまして、子供たちと光るミミズを見つけるっていうイベントをしました。おとしは、ファーマーズマーケット at 大泉図書館の際に、庭園の中央にエチュードというタイトルの女性の裸像があるんですけども、そのまわりの花壇に、オリンピックでも使われる花をみんなで植えようというイベントをしたことがあります。季節的に暑い時期になると蚊が出てくることもあり、いい時期が短くて、いろんな事業で使う時期が難しく、どんなことができるかと毎回模索しています。なので、こんなイベントはどうかなっていうのを、皆様からご提案いただければと思っています。

利用者 ねりまおはなしの会というところに属しています。ここで30数年間、毎週、初めは土曜日でなかったんですけども、おはなし会を月1回しております。今年は、緊急事態宣言が長かったので、月1回の会がずっとできなかつたんですね。そうしましたら、図書館の児童担当の方から、申込制ならできるんじゃないかということ

を提案していただきまして、それができるのならそれでやりましょうということで、10月からは申込制でしていましたが、緊急事態宣言は解除されましたけども、そういういろんな方法を考えていただけたことを、非常にありがたいなあと思っております。他の図書館でもおはなし会をしていますけど、そちらの方ではそういう話にはなりませんので、やっぱりありがたかったなあと思っております。ですから、これからまだどこまでこのコロナ禍が続くかわかりませんが、その状況に応じてできる形で何とか模索して一緒にできたらいいなあと思っております。

図書館 ねりまおはなしの会にやっていたいでいる会もそうなんですけれども、図書館にふらっと来た時に気軽に参加できるというコンセプトのものはいろいろあると思います。特に子供向けのものは、前々から申し込むというよりは、来た時にいつでも楽しめるという趣旨のもとで今までやってきたところなんですけど、コロナのために不特定多数というのではなくて、いつどこに誰がいたかがわかった方がいいということがありまして、ちょっと堅苦しくなっちゃったんですけども、事前申込制での事業というのがやはり多くなっております。特に、子供向けの事業についてそういった形になったので、とても心苦しいところです。長い間できなかったものも結構あり、なかなかすぐに終息するという訳ではないので、できる形を模索しながら、相談しながら実施していければ良いと思っています。たぶん、皆様の団体での活動でも、コロナ前とコロナ後ではいろいろ創意工夫があったものと思っておりますので、その辺りも含めまして、何か思っちゃることをお話しいただければと思います。

もうひとつ付け加えますと、小学生の子供達向けに、親御さんたちがボランティアで読みかせをするような場面があるのですが、その時にどういった本をよみかせしたらいいのかわからないという声をいただいたことがありまして、図書館だけで考えるのではなく、地域で長い間活動されている方たちと一緒に相談あって、そういったリストを作って行けたらいいのではないかとということで、今年度新たに始めたことがあります。おすすめの本は展示だけでなくおすすめの本のリストも作っていますので、こういったものも皆様に活用していただきたいと思っています。大勢の人を集めるイベントが、企画した時期から実際に実施するまでの間に状況が変わってできなくなってしまうとか、人数制限がかかってしまうものがあったので、そうじゃないもので何かできたらいいなというようにいつも考えながら行っているところです。状況がいつ変わるかわからないというのが、この1、2年はかなりあったと思います。

利用者 そろそろコロナも終息するかのようになってきてまして、世の中イベントや講演会がたくさん復活してくると思うんですが、ここの図書館も以前のように、また講演会をたくさん催すようにしていただきたいと思っています。専門家の人たちに直接

ご質問できることは、とても有意義なことだと思いますね。以前も、ねりま健育会病院の院長が来ていただいて、いろいろお話しいただいたのですが、たまたま向この病院側の都合で、講演会が中止になったことがありました。

それから1階のパソコンがかなり旧式だと思うのですが、いかがでしょうか。はつらつセンターには、最新のパソコンが10台以上揃っているんですね。ですから、そこのところを換えていただきたい、もうだいぶ長いこと同じものなので、替えていただきたいと思っています。

図書館 今お話しいただいた大泉図書館での講演会等ですが、全く中止にするということではなくて、通常視聴覚室ですと50名定員で行っていたものなんですが、だいたいその半分の20人とか30人という規模で、いろいろな事業をしております。直近のものでは、もう定員に達してしまっただんですが、11月7日に文学講演会を開催する予定となっていて、今回は直木賞作家の中島京子先生をお呼びして講演会をする予定となっています。地域の医療講座も、去年は中止となってしまいましたが、今年度は継続して行う予定となっていますので、それは告知できるのがもうちょっと先になるんですけれども、予定しています。それ以外のものでもいくつか計画しているものもございますので、できる形で事業をして参りたいと思っています。

パソコンについてお答えいたします。旧式じゃないかというお話だったのですが、3台並んでいる閲覧用のパソコンのことでよろしいですか。

大泉図書館では利用者用パソコンを3台用意してまして、前は間引きして2台だけ使えるようになっていたのですが、今は3台使えるようになっています。

パソコンが旧式だと思うということでしたが、パソコンは2年前に新しくしています。今のが旧式かどうかというのは、たぶん新しい方だと思っています。

利用者 大泉学園デイサービスセンターです。いつもお世話になっております。

いつも図書館にはとてもお世話になっておりまして、うちのデイサービスは、この図書館と近いので、散歩コースの休憩場所に、いつもベンチに座って写真を撮って、戻って、歩ける方はぐるっと回ってというふうに活用させていただいたり、コロナの前は屋上の庭園に行き、そこで休憩してまたデイサービスの方に戻るということをやっていたんですが、今屋上の方は使っても大丈夫なんですか。

図書館 児童室から出るところですか。普通に出ていただくことができます。以前と同じようにお使いいただくことができます。

利用者 ありがとうございます。季節がいいもので、午後も散歩を考えておりまして、コロナ禍で遠慮していた部分もかなりございますので、お聞きできてよかったかなと思います。あと、うちに、おでかけ図書館で来ていただいたり、こちらの手芸の作品を展示していただいたり、うちの利用者様が、デイサービスのない日にまで図書館さんに来て自分の作品を見に来てらっしゃるってことをお聞きしていますので、

私たちは近くに図書館さんがあるので、とてもありがたいなと思っております。

利用者 大泉学園デイサービスセンターでおでかけ図書館の担当をしています。おでかけ図書館で、前は年に3回ほど来ていただいてたんです。コロナがちょっと落ち着いたということで今年度は2回できて、利用者様が喜んでらして、助かっております。心地よい話し方で眠くなる方もいらっしゃって、ほんとに楽しくて、ここにある紹介していただいた本とかを借りに行けたらいいねなんて、終わった後に話ができますので、本当に感謝しております。ありがとうございます。

図書館 児童室から出る庭園も、図書館の閲覧席というくくりですので、気持ちよく過ごしていただいたり、本を読んでいただいたりする場所として使っていただければと思います。天気が悪い時や、光化学スモッグが出ているような時には出られないんですが、それ以外でしたら大丈夫ですので、利用していただければと思います。

利用者 社会福祉法人つくりっこの家の理事長です。今日初めて出席させていただいて、いつもは所長が出席しています。うちは精神科に通院している人たちが、地域の中でその人らしく生きていくということで皆さん一緒に働いているんですけども、そのメンバーは図書館を利用させていただいて、喜んでおります。その他にも、今本部はバス通りで関越が交差するところにあるんですが、そこでも小さなお店で自分たちが作っているクッキーとかさき織りの作品とかを置いています、それ以外でも、近くの農家の方たちと連携して野菜も置かせていただいています。

それを月に1回、図書館のピロティでマルシェとして売らせていただいて、図書館で買った人がお店の方にいらしたり、お店にいらした方に図書館を紹介したりというようなことも最近はできていて、とても喜んでおります。こんなに図書館が地域の方たちと連携して活動しているっていうのを、とても素晴らしいなって日頃思っています。これからもよろしく願いいたします。

利用者 今、お話しされた方は、この向かいに教会ありますね、そこで昔、牧師さんが、こひつじ文庫っていう文庫をしていたんです。大泉図書館を作る時にどういう図書館にするかっていう会をしたんですけれども、その時に牧師さんが会に出ていて、その方が出られない時は私が出ていたんですけれど、みんなの願いは地域に開かれた図書館だったんですね。それがどんどん具体化、実現されているなっていうことをあらためて思いましたので、ひとことちょっと余計なことみたいですけども。まちの駅の方もその時のメンバーでした。

利用者 図書館を通じて、こんなにたくさんつながりがあります。私もまちの駅大泉学園っていうNPOの代表をしておりますが、図書館というのはたくさん多様な働きができる場所だと。何ですかおでかけ図書館ですか、そんな上品な名前になって、高齢者のための食事会で、図書館の情報が入るとウェルカムというか、お誘いした方がにこにこして。持っていくこともできるし、ここに集まるとか集めることもできるし、ここのところ特に民間委託って形になりましたけど、図書館の文化

的な価値の大きさを、そのことに関しても広がってきていると思います。

図書館 大泉図書館ができた時の経緯というのは、指定管理者として運営をするにあたって引継ぎ等でお聞きしていたところでもありますし、特に大泉図書館開館時のエピソードは、「大泉図書館建設の記録」という映像が残ってしまっていて、それを繰り返し見ることで、図書館に対する地域の皆さんの熱意について、熱く感じるものがありまして、それをいつも胸に運営をしようと思っているところです。図書館っていろんな場所にありますが、その立地によってもやはり役割とか目指す方向性って決まってくるんじゃないかなと思っているんですが、皆さんご存じの通り、大泉図書館って駅から近いとは言えないし、まわりにお店がいっぱいあるというわけではなく、畑と宅地の中に建っているところなので、地域の人達だとか地域のいろんな場所とつながっていくことがいちばん大切なんじゃないかなと考えて運営していますので、どんどん地域の中でつながっていきたくと思っています。

先ほども申し上げましたが、つながりたいのに、人との接触がしにくかったこの2年間は、本当に苦しい時期でした。でも、その中でできることって何だろうって考えていたので、皆さんにいろんなつながりがあるのが見えてきて、すごくうれしいと思っています。

他にも、うちはこういうことをしていますとかでもけっこうですので、何かございますか。

利用者 夏目漱石を読む練馬読書会です。ひとつだけお尋ねしたいことがございまして、コロナがこういう具合で、私たちの会員の人たちは比較的高年齢で、コロナの流行に会員の方が追いついていけない。人数も半分以下の時もあります。いろいろ検討しまして、会の講師が皆さんに配信したいと話してしまっていて。いろいろ手はあるらしいんですね、Zoomという手もある。いろいろ調べてみたけどやっぱりお金がかかるんですね。私たちの会費はものすごく安くて、資料もほとんど無料で配っているんでこういう費用がまず出ないんですね。そういう知識を持った人がたくさんいればその技術を利用して今日来られないという方に配信したいと思ったこともあるんですが、なかなか手が出ないということがありまして。大泉図書館でそういう技術と設備をお持ちになっているかどうかわからないのですが、あれば配信という形でできる技術を提供していただければありがたいなと思います。予算とかいろんな問題があるのでここだけでできる問題ではないと思っていますけども、ひとつお考えいただきたいなと思います。今会員が30名くらいいるんですけど、参加が15名以下になっている理由としては、やっぱりこのコロナの問題が大きな原因になっていて、それをクリアするには、そういう方法論もあるんだなことを情報として知っています。

地域とつながるのは、そこからですね。皆さんがアクセスしていただければ、あ、こういうものやっているんだとか、生でわかる、そういう発信も図書館でできれば

ありがたいと思うのはちょっと欲張りかもしれないですけど、お考えいただきたい。他の方々もね、そういう配信の仕方ができるんじゃないかなと、私たちの会だけではなくですね、そんなわけで提案させていただきます。

図書館 練馬区が行うような事業でもZoomでの配信をしているものがいくつかあります。今年、練馬区の地域医療課が行った講演会を、後日DVDにしたものを上映したことがありました。それ以外にサテライト会場として同時に配信されたものをそこで見たりとすることができたのですが、残念ながら大泉図書館ではそういった設備がないため、今回はDVDにしたものを上映するという形で行いました。確かに、いろんな講演会でも人数制限があると、今まで50人の方に参加していただいたものが半数以下でしか開催できないことがあって、それについてはいろいろ思うところもあります。

先ほど大泉図書館のまわりには小中学校が多数あるという話をしたのですが、すぐとなりにあるわけではなく、広い地域の中に何校もあるので、物理的な距離があって、それを一気に超えるためには、Zoomなどのネット環境があって遠隔地にも素早くそれが届けられるというのが目指すところなんですけど、いかんせん設備を整えたりとか、ハード面だけでなく、ソフト面でもよくわからない部分もあるんですけど、いろいろ検討してやっていくのが今後の課題だと図書館としても考えています。なかなかすぐにできるものではなく、難しいところではありますが、どちらにしてもそこは課題なので、いい方向に変えられればと思っています。それが当然コロナ前と違っているところだと思っていますので、配信という形も考えていければと思っています。がんばって検討して、いい方向に進めたいと思っています。

利用者 藤沢周平と大泉の会です。いつもお世話になっております。視聴覚室の定員はこれからも25人っていうような線ですか。今日体温を測られたんですが、その体温の方は、図書館で具体的には会合とかいう以外に何かやってらっしゃることがあるんですか。やっぱり体温は測るのがいいと思うんで。

図書館 最初に、部屋の定員の件ですが、大泉図書館だけで決めているわけではなく、国の方針が出て、都の方針が出て、そのあと練馬区の方針が出たらそれに基づいて練馬区立図書館の方針が出るという形です、今は緊急事態宣言が解除されていますので、定員は視聴覚室でしたら50名とかで大丈夫ですが、用心して人数制限をしているというところがあります。例えば、近々行われる文学講演会なんですけれども、数か月前の企画段階では、いつ解除されるかわからない状態だったので、やはり定員を半分にして進めていくしかなかったというところがあります。今は緊急事態宣言が明けてますので、人数的には定員の半分ということはないのですが、自主規制みたいなどころでしょうか。それと、消毒、検温のお話をされたと思うんですけども、図書館の入り口に入って、最初のガラス戸を入ったところが風

除室なんです、その傘立ての脇に機械がありまして、検温と同時に消毒液が出てくるというような設備となっています。帰りにでもちょっとご覧いただければと思います。背が高いわりに不安定な感じなので、倒れないような工夫をしたうえで、設置していて人の邪魔にならないようなところにあるので、逆にちょっと見えにくくなってしまってるところもあると思います。

利用者 私は石神井図書館によく行っているんですが、入り口を入ったところであって、やらざるを得ない形になっています。ですから、大泉もそういう設置にしてもらえるとありがたいなど。

図書館 練馬区内の図書館すべてにその機械は設置されているんですが、それぞれの館の状況に応じて置き場所が異なっていると思います。

なかなか設置場所が難しく、安全性を確保したうえで設置場所を考えていますので、大泉の場合は、今置かれているところになるかと思っています。

利用者 この近くにあります保育園の園長をしております。ちょうどこの通り沿いなんですけど、いつも皆さんに助けをいただきありがとうございます。このコロナ禍では、月曜日の休館日に図書館見学というのを企画していただきまして、利用者がいない中に、年長児、次に小学校に入るいちばん上の年齢の子たちを招いてくださって、図書館を探検することができました。子供たち、とっても興奮して声も出してしまったんですけども、何よりありがたかったのは休館日でご利用の方たちに迷惑をかけずに、のびのびと図書館の中を見ることができた、それは本当に子供にとって、図書館ってすごいところだなんていう印象を幼い時期に伝えることができたなど、本当に感謝いたしました。ぜひ、休館日に子供たちに図書館のいろんな設備をお見せいただいて、子供たちの図書館への理解を深めるという企画を継続していただけたらと思います。そしてまた今月から読みきかせにいらしていただくのが再開するので、毎回楽しみに待っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

図書館 幼稚園の子供を対象とした図書館見学は、今年度初めて行ったことなんです、今までも近隣の小学校の図書館見学というのは実施してまして、人数が多くなってしまうと密になってしまうので、そのあたりの実際の運営方法というのはいろいろスタッフと相談して、細かく工夫をしてやっています。例えば、館内に一度に大勢で入るのではなくて、ピロティでまずお話をし、中に入る時には細かく分散して動線が重ならないように回遊型でうまく回ったり、声を出さないようにボードを使って説明したりと、考えられる限りのことをして、やってまいりました。中止してしまうのが一番残念なことなので、できる形で何とかやろうとしていました。これは当然継続してやっていくことですので、今後ともよろしく願いいたします。

図書館 休館日の図書館見学ということで、子供向けの事業の話をしていただきましたが、一般

向けにも実施を予定しています。例えば図書館ツアーですとか、検索のしかたなどをお教えする事業を、休館日に少人数で開催することを考えていますので、今後ご期待ください。

利用者 先ほど1階の方の庭園も開いてるということだったんですが、来年度とかで、桜がすごくきれいに咲いているので、そういう時期に外気浴とか外出目的で、1階の方の庭園に入ることはできますでしょうか。

図書館 1階の庭園も図書館の閲覧席の一部なので、普通に入れるところです。入っていただいても大丈夫なように、図書館の庭園にある木々はきちんと剪定しています。

利用者 どこから入れますか。

図書館 図書館の閲覧席の一番南側の、地域包括支援センターに近い方側で、ガラス扉から外に出られるようになっています。

利用者 1人用のデスクがあるところですか。

図書館 正面玄関に入って、カウンターからずっと奥に入っていただきますと、左の方のガラス扉に「こちらが出口です」と書かれたものが貼ってありますので、そちらから出ていただけます。地域資料コーナーの脇の扉から出ることができます。車椅子でも出られるように、置いて使うスロープ板を脇に用意してありますので、それをお使いいただければ車椅子でも外に出られます。

利用者 大泉学園包括支援センターですが、いつもお世話になっております。先日ここで、認知症の方の本人の介護をするためのボランティアの集まりをしていただきまして、ありがとうございました。その際に、2階の会議室だと雰囲気的な問題だとか、ご案内のしかたとかの関係もあり、ボランティアの方から、1階とか学習室みたいな、オープンスペースでできた方がいいんじゃないかという意見があって、さっきの休館日の話になるんですけども、場合によって休館日でもそういう利用のしかたはできますでしょうか。

図書館 部屋の利用に関しましては、開館している時にご利用いただくことになっていきますので、図書館見学で館内を回るのとはまたちょっと違ってくる感じです。会議室、視聴覚室は2階にあるので、なかなか上まで上がるのが大変だという方もいらっしゃると思うんですが、エレベーターを使っただけというご案内しかできず、1階にそういったオープンスペースもないので、ご理解いただければと思います。

利用者 藤沢周平と大泉の会ですけど、夏目漱石に関するお話、読書会というんですか、あと、大泉中心に、五味康佑とかいろいろ著名な作家や、評論家とか文芸評論家とかもいらっしゃるんですか。そういう集まりというか、地域で私たちの会と同じような会が組織化されているのが他にありますか。

図書館 図書館として、把握しているのは周平の会と漱石の会くらいです。

利用者 そのくらいですか。

- 図書館** さきほど「練馬つながるフェスタ」のチラシを配布させていただきましたが、まさにこれって地域で活動しているいろんな団体さんたちが、うちこんなことやってるよと紹介し合ってその団体がやっていることも紹介するし、団体同士のつながりを深めるといったようなイベントとなっていますので、ぜひこちらに参加していただいて、何か同好の志を探すとか、こんな団体もあったんだねっていうのをご理解いただくことにお役立ていただければいいかなと思っています。
- 利用者** 大泉の場合は、入り口あたりでのパネル展とかですか。
- 図書館** こちらのパネル展は、来年1月7日から10日まで時間を決めまして、会議室を開放して見ていただく予定になっています。ワークショップの方は1月10日の2時から4時半の間、視聴覚室を開放して実施する予定です。
- 今現在は、参加団体を募集し始めたところなので、やってみたいとか、パネル展だけでも参加したいなというところがございましたら、裏面に参加申込書がございますので、こちらにてお申込みいただくか、お問合せいただければと思います。
- 利用者** 「練馬つながるフェスタ 2022」というのは区で実施されるものですか。
- 図書館** 区で主催している「練馬つながるフェスタ」というものがありまして、2022年開催のものが、パネル展とワークショップになっています。以前は、リアルで集まってやるような大がかりなイベントだったようなんですが、やはりコロナ禍ということもあり、パネル展と小規模なワークショップでの開催という形になったと聞いています。
- 昨年は、オンラインでの実施だったということですが、今回はこういうように、あらかじめ申し込んでいただいた団体さんのパネル展示や、参加団体さんのブースで、いろんなものを作ったり、お話を聞いたりとか、簡単な体操をしたりとかというのをやるイベントです。どういう団体が参加しているかはこのチラシには載っていませんが、つながるフェスタに参加されている方、まちの駅さんは、参加されたことがあるのではと思いますが、いかがでしょうか。
- 利用者** 昔参加しました。今度参加しようと思った動機ですが、私たち広報の活動がへたなんですね。そうすると、ここに写真を3枚と適当な活動の文章を書けばオーケーって書いてある、もうこれは楽だなと思って申込もうと思います。
- 図書館** ワークショップはまたちょっと違うと思うんですけども、自分たちの活動を知ってほしいというグループの方、いらっしゃると思うんですね。
- そんな時に、まちの駅さんがおっしゃったように、写真とちょっとした文章があればそれをパネルにするのは区がやるということなので、うまく利用してPRしていったらいいんじゃないかな、というように思っています。地域とつながりたいと願っている大泉図書館なので、今回の「練馬つながるフェスタ」に絶対参加したいと思ってきたので、図書館を会場としてお使いいただくことで、参加することになっています。

参加団体は本当に多種で、NPOとか社会に貢献しようというような活動をされている方から、木を楽しむとか木を見る会とかですね、あと今SDGsということで、サステナブルな社会が望まれているので、そういうことに関わるようなものとか、あとは、ガールスカウト、ボーイスカウトですとか、こちらにも書いてあります町会、自治会とかでも全然構わないということで、防災に関する団体だとか、地区の防火団体とかでも構わないということでした。なので、読書のサークルでもいいと思います。ただ、会員同士の親睦を深めるためのサークル活動は対象外ということなので、内側だけではなくて、外部とつながりたいというような方々に、こういう機会を活用していただければと思います。

パネル展も図書館でやるのでしたら、おすすめの本と一緒に紹介したり、図書館としても、自分たちで活動するためにどのようなことが必要なかが書いてある指南書とか、自治に関するものとかを紹介させていただきたいと思っています。楽しみにしていただければと思います。

利用者 コロナ禍のこの2年間、図書館では不特定多数の方がいらっしやっていて、いろんな意味で神経を使っただけじゃないかと思いますが、我々利用する側に、何かアドバイスとか何かあれば。この2年間、やっぱり緊張してたんですね。

図書館 大泉図書館として気をつけていることという点でしたら、来館者の皆様だけでなく、まず私たち自身が毎日出勤する前に検温ですとか体調チェックをして、それで大丈夫と確認できたら出勤するという形をとっています。当然マスクは着用していますし、カウンターなどで対応するときに、ビニールの手袋をはめたりすることもあります。どうしても飲食の場でマスクを外すことが多いかと思うんですけども、そういった時も、今までは休憩室では、大勢で食事をしてたのを、人数制限をしたうえで、対面で食事をとらないで、壁に向かってひとりずつごはんを食べるといったことをしています。私たちにとっては寂しいせつない時期ではあったんですけども、できることをひとつずつ丁寧にやっていくというようにして過ごしてきました。ワクチン接種もだんだん進んできているところですけども、それはそれとして、今後も気をつけてやっていければと思っていますところ。図書館からのアドバイスというのはおこがましいのですが、巷にいろんな情報が流れていますよね。図書館というのはいろんな情報が集まる場所ですし、情報を蓄積する場所でもありますので、資料という面では、きちんとしたものを集めて情報発信していきたいと考えています。感染対策アドバイザーという資格があるんですけども、夏にその検定を受験しまして、資格を取得しました。まだまだ、どのように発信していくかなかなか難しいところですが、基礎的な知識を得てそれをうまく活かしていければと思っています。

あと5分くらいで閉会となりますが、何かございますか。
朗読のいずみさん、明日もイベントがございまして、一言いただけますか。

利用者 朗読のいずみです。いつもお世話になります。明日、私どもの朗読鑑賞会を2時から開くんですが、こういうコロナ禍で30名という人数の限定をしまして、図書館にもいろいろご協力いただきまして参加者が集まりました。いろいろコロナの対策のしかたやなんか、こういう会を開くにあたって教えていただいたこと、すごく感謝しております。ありがとうございます。

図書館 大泉図書館では、図書館で活動していらっしゃる団体の方の発表の場を設けるということもしております。朗読のいずみさんは、去年はコロナのためにそういった朗読会ができなかったんですけども、今年1年振りにできることになって、私たちもうれしいと思っています。やはり、毎回団体の中で研鑽され、それをどこかにアウトプットしていかないと、モチベーションが下がってしまったりと思うので、それを図書館としてうまく支えていければと思っています。他の団体の方でも何かこう自分たちが日頃やってきたことを発表したいという時には、図書館をその発表の場として使っていただければと思っています。

さて、時間となりましたので、これで閉会とさせていただきます。引き続き、図書館の運営にご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。なお、光が丘図書館の懇談会は、11月20日（土）午後2時から4時まで行われます。

本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。またのご来館をお待ちしております。